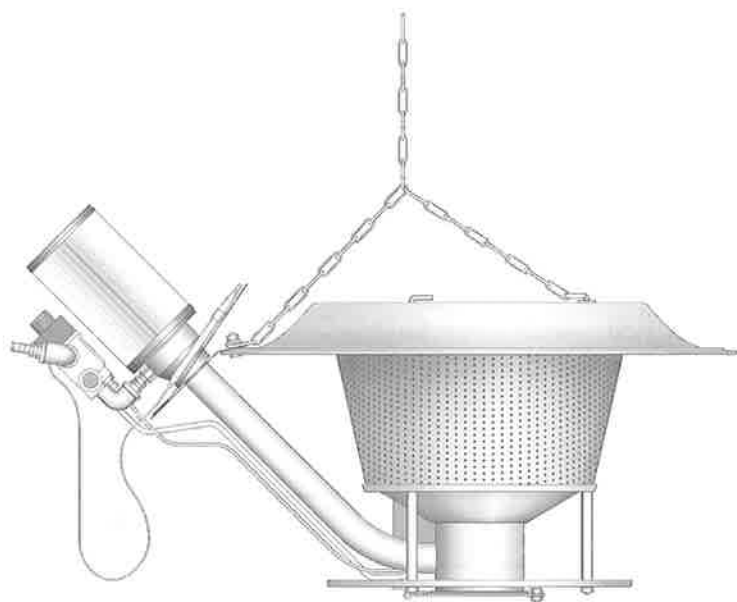
要 保 管

Iwatani

ガソリック ブルーダー

G12-Maxi

取扱説明書

設置・工事説明書

このたびは当社のガソリック ブルーダー（以下、器具と呼称します）をお買い上げいただき、ありがとうございます。

安全にご使用いただくために、器具を使用する前にこの取扱説明書をよく読み、十分に理解したうえで、ご使用ください。

＊この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に大切に保管し、使用方法がわからないときにお読みください。

＊ご不明な点がございましたら当社または、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

ガス配管工事および付帯設備の取付工事は、液化石油ガス設備士等の資格が必要です。
資格のある業者に依頼し、正しい工事を行ってください。

岩谷産業株式会社
自然産業本部

目　次

ご使用の前に　安全上のご注意

◎ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

◎ここに示した注意事項は、器具を正しく安全にお使いいただき、使用者や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

◎誤った取り扱いにより生じる危害・損害の程度をつぎの四つに区分しています。

⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険または、火災が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険または、火災が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	危険･警告･注意の項目以外で特に守っていただきたい内容を示しています。

※ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族･来客者および購入者から器具を譲渡された人なども含みます。

絵表示の例

△記号は、**危険**が想定される内容や、**警告・注意**を促す内容があることを告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容がかかれています。
左図の場合は、「一般的注意」を示します。

○記号は、**禁止の行為**であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容がかかれています。
左図の場合は、「分解禁止」を示しています。

●記号は、行為を**強制**したり**指示**したりする内容を告げるものです。
図の中や近くに具体的な指示内容がかかれています。
左図の場合は、確認をしていただく「指示」内容を示しています。

ご使用の前に　安全上のご注意

⚠ 危 険

誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険または、火災が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

ガス漏れ時の処置について

禁 止

- ガス漏れに気がついたときは、すぐに使用をやめ、ガス栓および器具のツマミを閉じ、お買い上げの販売店または、ガス事業者に連絡してください。

火気禁止

- 処置が終わるまで、絶対に火をつけたり、電気器具（換気扇など）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話は、使用しないでください。
  火や火花で引火し、爆発事故をおこすことがあります。

設置場所について

禁 止

- この器具は畜舎内に設置する家畜用の暖房器具です。人の居住する部屋や、畜舎以外の気密性の良い建物などで使用しないでください。
  不完全燃焼により、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

異常を感じた時

危 険

- 畜舎内で、異臭・めまい・頭痛等の体に異常を感じた場合は、早急に畜舎から出てください。
  一酸化炭素の発生または、酸素不足が考えられ、死亡事故を起こす可能性があります。畜舎内の換気を十分に行ってから原因を調査してください。

⚠ 警 告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険または、火災が想定される内容を示しています。

使用ガスについて

確 認

- LPガス（プロパン い号以上）以外で使用しないでください。
  LPガス以外のガスで使用すると、爆発点火や異常燃焼などの原因になります。
- ガス配管工事および、ガス供給に係わる付帯設備の取付工事は、液化石油ガス設備士等の資格のある業者に依頼し、15ページ以降の「設置・工事をされる方へ」を必ず見せてください。
  ガス配管工事および付帯設備の取付工事に不備があると火災の原因になります。

ご使用の前に　安全上のご注意

⚠注 意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

高温部に注意

接触禁止

- 使用中、使用直後は、バーナ部や反射板などの高温部には触れないでください。
  やけどのおそれがあります。

ガスホースの配管について

禁 止

- ガスホースは器具の近くに配管しないでください。
  器具に近づけたり触れたりすると、熱によりガスホースが劣化したり、溶けたりし、ガス漏れするおそれがあります。

点検について

高温注意

- 使用中、使用直後は器具の各部が熱くなっています。点検を行う際には、各部の熱が冷めていることを確認してから行ってください。
  また、必ずガス接続口（ホースソケット）からガスホースをはずしてください。

換気について

換気注意

- 運転中は、畜舎内の一酸化炭素ガス濃度を考慮しながら燃焼を行い、長時間連続して使用する場合は、必ず定期的に換気をしてください。
  不完全燃焼による一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

設置上の注意

禁 止

- この器具は、畜舎内に設置する器具です。以下の場所での設置・使用・保管は、さけてください。
  故障または、思わぬ事故の原因となります。
  - ・器具が確実・強固に吊り下げられないような場所や、不安定な場所。
  - ・屋外など雨、風、雪に直接さらされる場所。
  - ・使用後の点検・修理などができないような場所。
  - ・スプレー、ベンジン、ガソリン、灯油や業務用薬品など、引火性の危険物がある場所。
  - ・雨天時に濡れたりするおそれのある場所。
  - ・雰囲気温度が４０℃をこえる場所。
  - ・器具から可燃物まで１m以上の距離がとれない場所。

修理について

分解禁止

- 修理技術者以外の人は、絶対に器具を分解したり、改造・修理しないでください。
  異常動作やけがなど、思わぬ事故の原因になります。

ご使用の前に　安全上のご注意

お 願 い

危険·警告·注意の項目以外で、特に守っていただきたい内容を示しています。

設置時のお願い

- 中間バルブ（コック）は器具とガス管の間の手の届く所に取り付けてください。
- 器具をチェーンに掛けて使用する場合は、確実に吊り下げてください。

運転時の注意

- 運転中はときどき正常に燃焼していることを確かめてください。また、畜舎内の温度に注意し、家畜の状態を確認してください。
  ガス圧の低下等で正常に燃焼できないと、畜舎内の温度低下により、家畜が死亡することがあります。

点火・消火の確認

- 使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

運転停止時の注意

- 運転を停止するときは、必ず器具のツマミを「OFF」にしてください。
  中間バルブ（コック）を操作しての消火はしないでください。 再使用時に中間バルブ（コック）を開けたとき、ガス漏れをおこすおそれがあります。

日常の点検・お手入れについて

- 点検・お手入れは、手袋などで指先を保護し、器具が十分に冷えてから行ってください。
  この器具は防水仕様ではありません。電磁弁などのガスコントロール部に水や洗剤が入ると、故障や異常燃焼の原因になりますので、水洗洗浄をするときは、十分に注意をしてください。

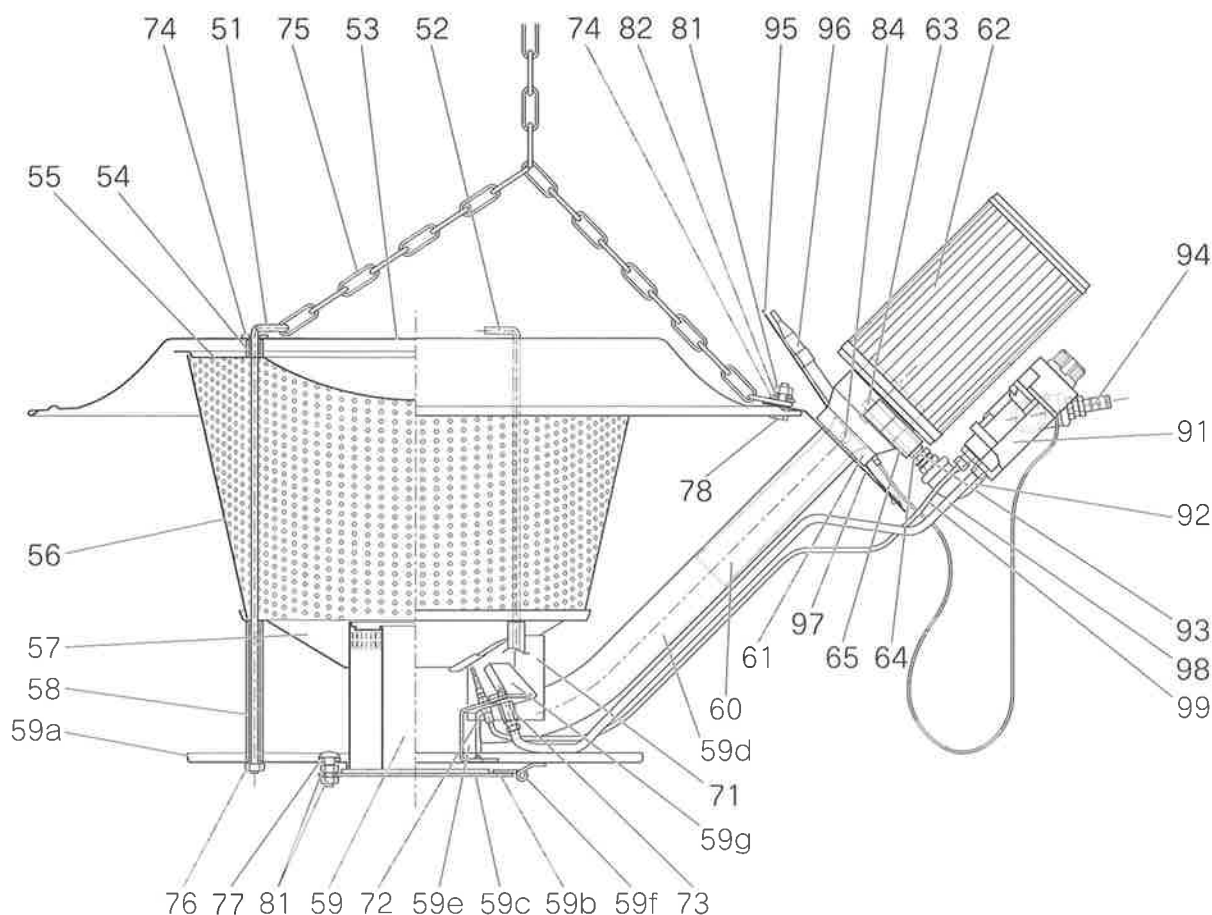
長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は、ガス漏れを予防するために、元栓と中間バルブ（コック）を閉じてください。
  ガスホースをはずした際には、必ずガス接続口（ホースソケット）にキャップをし、器具にはポリ袋などをかぶせ、虫等が入らないようにしてください。
  また、保管する場合、雨、風、雪に直接さらされる場所や、雨天時に冠水する場所での保管はしないでください。

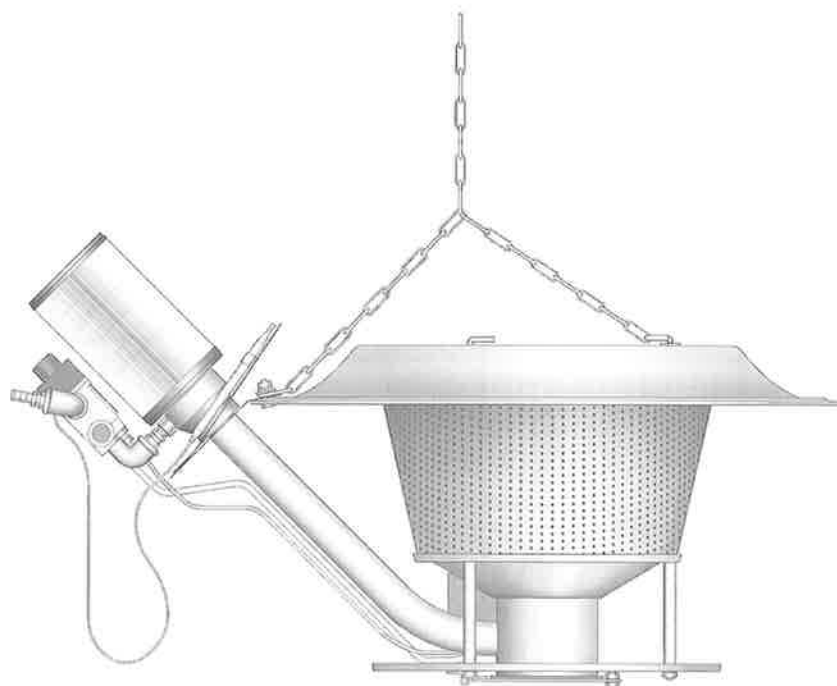
定期点検について

- 器具を長期間安心してより長く使用していただくために、２～３年に一回程度の定期点検をおすすめいたします。（14ページ参照・点検は有料です）

各部の名称と仕様

各部の名称

No.	部　品　名	No.	部　品　名	No.	部　品　名
51	アイ支柱	59g	パイロットフレームガイド	81	ナットM6
52	支柱	60	ベンチュリ	82	ロックリング
53	反射板	61	アダプター	84	ネジM5
54	短パイプ	62	G12フィルター	91	サーモスタットユニット
55	放熱板上部板	63	G12メインノズル	92	エルボ
56	放熱板	64	ノズルホルダー	93	ブッシング
57	放熱板下部板	65	ノズル固定具	94	ホースソケット
58	長パイプ	71	G12パイロットカバー	95	センサーブラケット（リベット含む）
59	バーナ	72	サーモカップルホルダー		
59a	バーナ底板	73	G12パイロットノズル	96	温度センサー
59b	ガスケット押板	74	ワッシャーM6（2x）	97	バーナパイプサポート
59c	ガスケット	75	チェーン	98	G12パイロットガスパイプ
59d	バーナパイプ	76	ロックナット（3x）	99	G12サーモカップル
59e	G12パイロットブラケット	77	ロックリングM8		
59f	ヒンジ	78	ネジM6（2x）		

各部の名称と仕様

仕　様

項　目		仕　様
商品名		ガソリック ブルーダー
型式		G12-Maxi
基本仕様	ガス種	LPG（い号以上）
	使用圧力（kPa）	2.8±0.5
	ガス消費量（kW）（kcal/h）	12.3（10600）
	質量（kg）	6.8
	ガス接続口	ホースソケット
	外形寸法（W×D×Hmm）	550×550×450（放熱板部のみ）
点火方式		パイロット（種火）方式
立消え安全装置		サーモカップル式
燃焼形式		自然燃焼
メーンバーナの形状		ステンレスプレスバーナ

ご使用方法

ガスホースの確認

- 「LPガス用ゴム管」を確実に接続し、ホースバンドで固定してください。

ガス栓を開く

- 器具へのガス接続が確実に行われていることを確認したのち、ガス栓を全開にしてください。

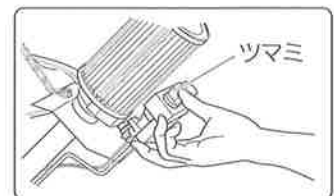
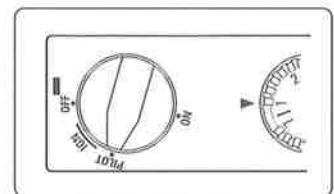
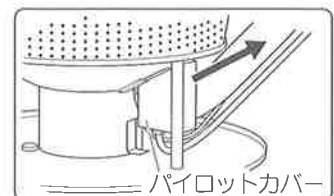
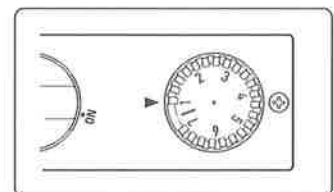
運転を開始する

- サーモスタットユニットの温度調節ダイヤルを最低温度「1」に設定してください。
- パイロットカバーを手前に2cmほどスライドさせてください。

- サーモスタットユニットのツマミを押しながら「PILOT」の位置で押し続けながら、点火棒（ガスマッチ）でパイロットバーナ（種火）に点火してください。
- 種火に点火後もツマミを約10秒間程度、押し続けてください。
- ツマミから手を離しても、種火が消えないことを確認してください。

  ※ガス配管後に始めて点火するときや、長時間使用しなかった場合は、配管内に空気がたまり、点火しない場合があります。この場合は配管内の空気が抜けるまで、再度点火操作を繰り返してください。

- ツマミを「ON」の位置まで回してください。
  燃焼を開始します。
  ※着火時には燃焼状態を確認してください。

※バーナに着火後は、温度調節ダイヤルにて、温度を調節してください。

停止する

- サーモスタットユニットのツマミを時計方向に回して「OFF」にしてください。
  途中、「PILOT」の位置で止まりますので、「OFF」まで押し回してください。

※確実に消火していることを確認してください。

点検・お手入れ

- 使用上、支障がない場合でも、安全により長く、使用していただくために、日常点検を定期的に行ってください。点検の際には、必ず電源を切り、器具からガスホースをはずしたのち、器具が十分に冷えてから行ってください。

- 使用中、使用直後は、バーナ部や反射板などの高温部には、触れないでください。
やけどのおそれがあります。

日常の点検

点検箇所	点検のしかた	処置方法
器具の周辺の確認	● 器具の周りに燃えやすいものをおいていませんか？ ● チェーン及び取付部に腐食はありませんか？	取り除いてください。 取替え又は補修。
器具本体	● 器具上部にほこりなどが付着していませんか？	取り除いてください。
器具本体	● フィルターが目詰まりしていませんか？	10～11ページの手順で、清掃してください。
器具本体	● 放熱板にすすが溜まり、空気孔が目詰まりしていませんか？	10～11ページの手順で、清掃してください。
器具本体	● パイロットノズルは1ヶ月ごとに清掃を行ってください。	10～11ページの手順で、清掃してください。
器具本体	● 器具の外観に異常がありませんか？ ● 運転中に器具からの異常音や不快な臭いなどがありませんか？	お買い求めの販売店またはガス事業者に連絡してください。
ガス配管の確認	● 配管の腐食・損傷はありませんか？ ● ホースにひび、割れ、損傷はありませんか？ ● ガス漏れによる器具や配管からのガスの臭いはありませんか？	お買い求めの販売店またはガス事業者に連絡してください。

点検・お手入れ

お手入れのしかた

● **器具のお手入れ**

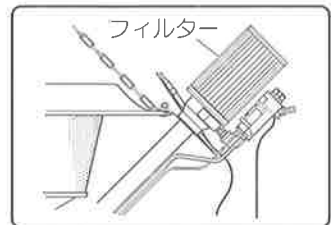
器具の汚れは、硬く絞った布で拭き取ってください。
ベンジンやシンナーなどは使わないでください。器具の故障や表示類が消える原因となります。

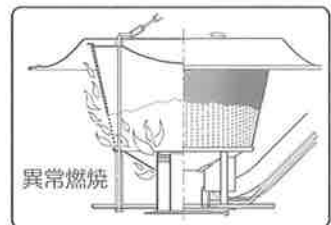
※器具は防水仕様ではありませんので、畜舎内を水洗洗浄するときには、器具にカバーをして、水がかからないようにしてください。

注意

● 器具は防水仕様になっていません。
サーモスタット部などに水や洗剤が入ると、故障の原因になりますので、水洗洗浄をするときは、十分に注意してください。

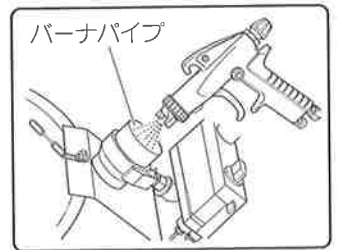
● **フィルターのお手入れ**

フィルターは1週間に1回程度、または1サイクル使用するたびにコンプレッサーなどで、ほこりを吹き飛ばしてください。
水洗いするときは、石けん水で洗ったのち、すすぎ洗いをしてください。水洗いをしたときは、よく乾かしてから使用してください。
フィルターを乾かさずに使用すると、不完全燃焼の原因になることがあります。

● **放熱板のお手入れ**

放熱板にすすが溜まり、空気孔が目詰まりするとバーナ部に十分な空気が供給されず、右図のように放熱板の外側で燃焼する異常燃焼となります。
放熱板は常にきれいで、すすの無い状態で使用してください。

1.放熱板に溜まったすすは、金ブラシまたは、高圧洗浄機とコンプレッサーで清掃してください。
高圧洗浄機を使用する場合には、サーモスタット部とバーナパイプのアダプター部をビニール袋などで覆い、水が入らないように注意してください。

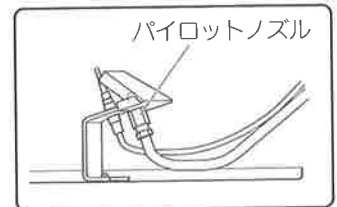
点検・お手入れ

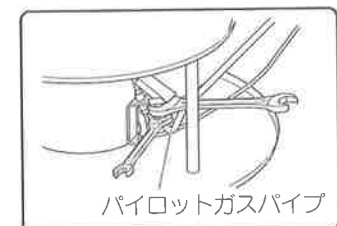
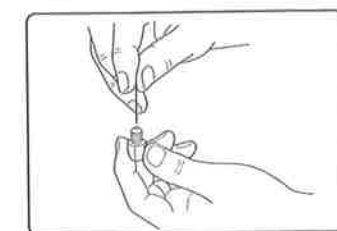
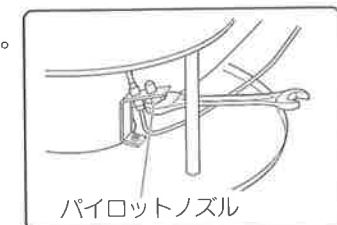
● **バーナパイプのお手入れ**

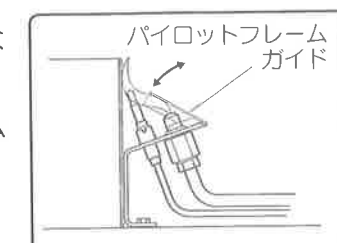
バーナパイプ内のゴミやほこりをコンプレッサーのエアーで吹き飛ばしてください。

● **パイロットノズルのお手入れ**

１ヶ月に１回程度、パイロットノズルの清掃を行ってください。
パイロットノズル孔が詰まった状態で運転を続けると、次のような症状が発生します。

1）種火が着火しない。
2）種火に着火するが途中で消える。（種火が持続しない）
3）メインバーナに着火するとき、爆発着火になる。

1.パイロットガスパイプとサーモカップルをサーモスタットユニットから取りはずしてください。

2.パイロットカバーを手前にスライドさせて抜き取り、パイロットガスパイプをパイロットノズルから取りはずしてください。
このとき、スパナでパイロットノズルを固定しながらパイロットガスパイプの六角ナットをゆるめてはずしてください。

4.パイロットノズルを反時計方向に回して、取りはずしてください。

5.パイロットノズルを針などで清掃してください。

● **パイロットフレームガイドの角度調整**

種火がサーモカップルに正しく当たっていないと、種火が点火しない、あるいは着火後、種火が消えるという症状がおきます。
種火がサーモカップルの先端に当たるように、パイロットフレームガイドの角度を調整してください。

故障かな？と思ったら

● 故障かな？と思ったらただちに使うのをやめて、まず次のことをお調べください。

こんなとき	お調べいただくこと	不具合の処置
種火が点火しない。	中間バルブ（コック）が全開になっていますか？	全開にしてください。
	ガス容器の圧力は十分にありますか？	新しい容器と交換。
	配管内に空気が残っていませんか？	点火操作を繰り返してください。
	中間バルブ（コック）のヒューズが作動していませんか？	一端コックを閉めて再度開ける。（2～3回繰り返す）
	パイロットバーナのノズルが詰まっていませんか？	ノズルを掃除する。
種火は点火するがツマミから手を離すと消える。又はその後、消える。（種火が持続しない）	種火の奥にあるサーモカップルに、種火の炎が正しく当たっていますか？	正しい位置に調整。（パイロットフレームガイドの角度を調整してください。）
	サーモカップルの先端でなく、下の胴体部に炎が当たりすぎていませんか？	
	種火の炎が弱くありませんか？	ノズルを掃除する。
	サーモカップルが損傷していませんか？	お買い求めの販売店に修理・交換を依頼してください。
メインバーナの着火時に爆発着火になる。	種火の炎が弱くありませんか？（ローソクが燃えているような状態）	ノズルを掃除する。
メインバーナに着火しない。	種火の炎が弱くありませんか？	ノズルを掃除する。
	サーモスタットユニットの温度調節ダイヤル位置が適正な位置になっていますか？（現在の室温よりサーモスタットの温度設定が低い）	温度調節ダイヤルの目盛りを高くする。

故障かな？と思ったら

こんなとき	お調べいただくこと	不具合の処置
放熱板が赤火状況又は真赤にならない	エアーフィルターが詰まっていませんか？	掃除をしてください。
	ガス圧が不足していませんか？ （ガス圧が不足するとガスボンベから遠い方の器具ほど燃焼が弱くなります。）	ガス事業者に連絡してください。
	コックが詰まりかけていませんか？	
	メインバーナーのノズルが詰まりかけていませんか？	コンプレッサー等のエアーでほこりを吹き飛ばしてください。
	サーモカップルが損傷していませんか？	お買い求めの販売店に修理・交換を依頼してください。
種火ツマミを押さなくてもガスが出る。	サーモスタットユニット内のマグネットバルブにゴミ等が付着していませんか？	バルブを掃除する。
種火（ノズル）からガスが漏れる。	サーモスタットユニット内のマグネットバルブにゴミ等が付着していませんか？	バルブを掃除する。
サーモスタットユニットの温度調節ダイヤルを回しても、炎の状態が変わらない。	温度センサーが適正な位置に取り付けられていますか？	所定の位置に取り付ける。
	温度センサーがサーモスタットユニットに正常に結線されていますか？ また、途中で切断されていませんか？	お買い求めの販売店に修理・交換を依頼してください。

アフターサービスについて

サービスのお申し込み

● 不具合、異常が起きたとき、修理を依頼する前に12・13ページの「故障かな？と思ったら」をみて、もう一度確認してください。
確認のうえ、それでも正常な状態に戻らない場合、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理しないで、お買い求めの販売店、またはガス事業者に連絡してください。
なお、連絡されるときは、器具の型式またはタイプを確認し、下記のことを連絡してください。

1. 名称・型式……ガソリック ブルーダー（G12-Maxi）
2. 故障または異常の内容・問い合わせたい事項（できるだけ詳しく）
3. ご住所、お名前、電話番号、道順（できるだけ詳しく）

保証・補修について

● 器具の故障については保証書に記載されているように、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無償修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、保証書を大切に保管してください。

● 無償修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店または、もよりの弊社営業所にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により修理（有料）いたします。

定期点検のおすすめ(有料)

● 使用上支障のない場合でも長期間安全にご使用いただくために、定期点検を受けられることをおすすめいたします。
定期点検は、お買い求めの販売店または、もよりの弊社営業所にご相談ください。
この場合、有料となります。

設置・工事をされる方へ

- ガス工事は有資格者（液化石油ガス設備士等）による正しい工事を行ってください。
- 施工・工事終了後は、必ずこの取扱説明書に従って操作し、試運転を行ってください。
- 設置工事終了後は、使用上の注意事項、正しい使用方法をお客様に説明してください。
  また、この取扱説明書を必ずお客様に渡してください。

設置場所の確認

設置場所を決めるときは、次の事項をよく確認してから決めてください。

- 設置場所を決めるときは、お客様とよく相談し、安全な場所に設置してください。
- 器具を吊り下げたときに、荷重に耐える強度のある場所に設置してください。
- 引火性の危険物（ガソリン・灯油・ベンジン・接着剤・業務用薬品など）の近くに設置しないでください。
- 十分に換気のできる場所に設置してください。
- 雨・風・雪に直接さらされる場所や、雨天時に水がかかる場所には設置しないでください。
- 器具から可燃物まで１m以上の距離がとれる場所に設置してください。

ガス配管工事

- 使用されるボンベ容器の本数が少なかったり、配管が細かったりすると、器具への供給ガス圧が低くなり、不完全燃焼の原因となります。
- ガス配管中は器具に近い場所に必ずガスバルブ、圧力計を取付け、器具との接続は、ゴム管を使用してください。
- ゴム管はＬＰガス用ゴム管（検査合格マークまたは、ＪＩＳマーク入り）を使用してください。
- 配管工事完了後は、気密検査を必ず行ってください。
- ゴム管接続は、必ずホースソケットの根元までゴム管を差込み、ホースバンドで固定してください。

設置・工事をされる方へ

ガス配管施工事業者の方へ

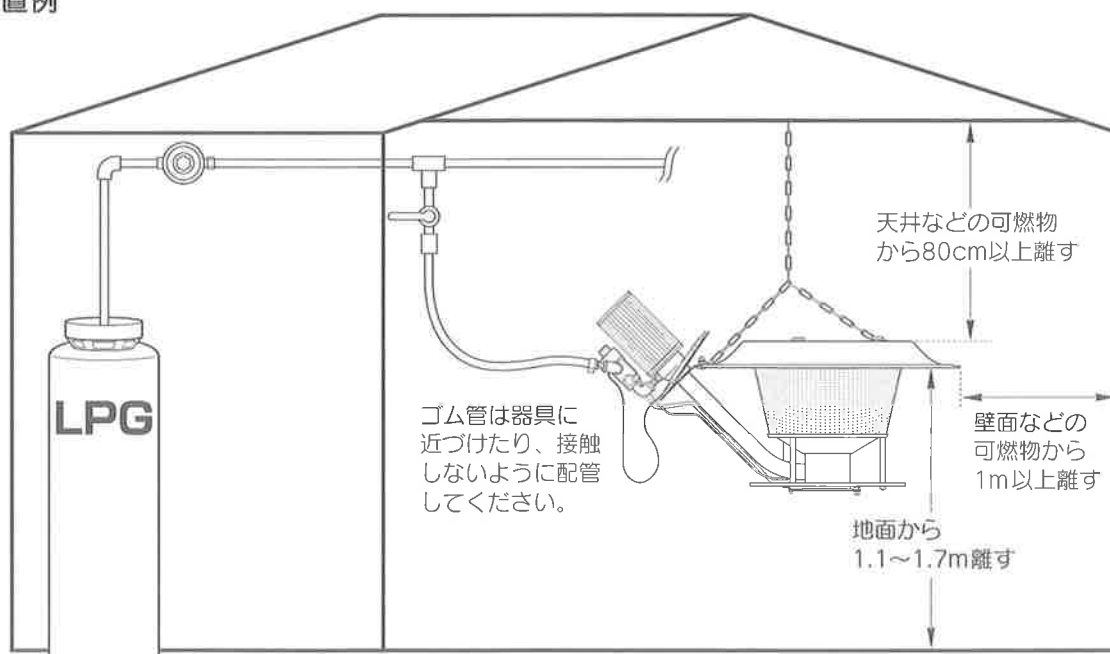
- ガス配管工事はガス供給事業者の指示に従ってください。

1．ＬＰガスについて

1) ＬＰガス（プロパン い号以上）を使用してください。

2) 使用ガス圧力は、２.８±０.５kPa（２８０±５０mmH_2O）です。
家庭用低圧調整器を使用してください。

3) ガス消費量は一台あたり１２.３kW（０.８８kg／h）です。設置する器具の台数により消費量に見合った調整器を使用してください。

２．設置例

３．配管について

1) 配管工事は、液化石油ガス設備士の資格のある方が施工してください。

2) 供給設備（ＬＰ容器等）は、転落・転倒しないように設置してください。

3) 設置例のように配管は、１５Ａ（Ｒ１／２）以上の配管用鋼管を使用してください。

4) 配管は、容易に取りはずせないように施工してください。
また、お客様に決して配管を取りはずしたりしないように指導してください。

5) 配管の末端の見易いところに、圧力計を設置してください。

6) 配管は畜舎の上部に設置し、水や消毒薬の影響のないようにしてください。
決して地面に、はわせたり、埋設したりしないでください。

7) 配管の末端には、ヒューズコックを使用してください。
コックやガス元栓は、開閉状態がよくわかるように明示してください。

8) ガス配管と電気配線は、接触しないように施工してください。また、配管と電気コンセントは100mm以上離してください。

9) 配管と器具との間は、LPガス用ゴム管（検査合格マークまたは、JISマーク入り）を使用してください。

10) 配管の末端のホースエンドおよび、器具のホースソケットには必ずホースバンドを使用し、容易に抜けないようにしてください。

11) LPガス用ゴム管を使用する場合、ゴム管の継ぎたしや、二又分岐を使用することは、液化石油法により禁止されていますので、調節器の出口に分岐管（ヘッダー）を取付け、そこよりゴム管で器具一台ずつに接続してください。
ただし一本のゴム管は、3m以内にしてください。圧損により不着火、立消え等の原因となります。

12) ゴム管が器具の燃焼部に近づかないようにしてください。

13) 配管やゴム管内に土、砂、ゴミなどが入らないように注意してください。
バルブが閉じなくなったり、ノズルが詰まるなどガス漏れや異常燃焼の原因になります。

14) 設置例のように配管用鋼管または、フレキ管による施工がどうしても出来ない場合は、LPガス用ゴム管（検査合格マークまたは、JISマーク入り）を使用してください。

15) 器具の設置については、この取扱説明書の「安全上のご注意」「ご使用方法」等の項、および「設置・工事をされる方へ」の項をよく読んでください。

16) 配管および器具の設置後は、必ず液化石油法に定められた気密試験により、ガス漏れのないことを確認してください。

17) 配管および器具の設置後は、必ず空気抜きを行ってください。ヒューズコックが作動しないようにわずかずつ空気抜きを行ってください。

18) 全器具を作動させたときに、配管の一番遠い器具のガス圧が指定通りになっていることを確認してください。

保　証　書

ガソリック ブルーダー

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。お客様の正常な使用状態において万一、器具本体が故障した場合には、この保証書の記載内容で修理をいたします。

1．保証期間　お買い上げの日から一年間

2．保証規定

（1）取扱説明書に従った正常な使用状態で、上記保証期間中に故障した場合には、お買い上げの販売店、または弊社に本書をご提示の上、修理をご依頼ください。無料修理いたします。
なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

（2）本書は製品に対するものであり、製品の故障に起因する、付随的損害について保証するものではありません。

（3）本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan）

（4）本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

（5）保証期間内でも次の項目による修理、点検交換は、有料になります。

①異常ガス圧、異常電圧の供給事情等による故障および損傷。
②使用上の誤りおよび不当な修理、改造等による故障および損傷。
③使用者の故意および不注意によって生じた故障および損傷。
④お買い上げ後、取り付け場所の移動、落下等による故障および損傷。
⑤火災、塩害、地震、落雷、風水害、降灰、煤煙その他の天災･地変による故障および損傷。
⑥ねずみ、鳥、くも、昆虫類の侵入および行為に起因する故障および損傷。
⑦注水、滴下水、浸漬、消毒薬散布および異常湿度等による故障および損傷。
⑧熱による変色、洗浄水による錆等、設計仕様内の感覚的な現象の場合。
⑨器具に表示してある以外のガスの種類で使用された場合。
⑩消耗部品の取替え、および保守等の費用。
⑪本書の提示がない場合。
⑫本書にお買い上げ年月日、お客様名の記入、販売店名の記入捺印がない場合、あるいは、字句が書き替えられている場合。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料となります。

※本書は、上記に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについて、ご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社にお問い合わせください。

製品名	ガソリック ブルーダー G12-Maxi
保証期間	お買い上げの日から１年間
製造番号	
お買い上げ日	年　　月　　日

お客様	販売店
ご住所	住所
お名前　　　　様	店名
電話番号　　－　　－	電話番号　　－　　－

岩谷産業株式会社
自然産業本部

〒105-8458 東京都港区西新橋3丁目21番8号
TEL 03-5405-5922　FAX 03-5405-5635